

ニュースリリース

**グリーンリバーホールディングス、岩手県・八幡平市は MOVIMAS と提携し
耕作放棄された熱水ハウスの再生を IoT 次世代施設園芸へ転換拡大
～「スマートファーム」プロジェクトがマイナビ農業のアグリテックに掲載～**

【本リリースの概要】

独自の水耕栽培を推進する農業ベンチャーのグリーンリバーホールディングス株式会社(本社:福岡県福岡市、代表取締役:長瀬勝義)、耕作放棄されたビニールハウスを再生する岩手県八幡平市(市長:田村正彦)とクラウド IoT 制御システムの開発を行う株式会社 MOVIMAS(本社:東京都新宿区、代表取締役:兒玉則浩)は新規就農者を育成する「スマートファーム」プロジェクトの基本合意書を締結しており、この度耕作放棄された熱水ハウスの再生を IoT 次世代施設園芸へ転換と拡大推進する「スマートファーム」プロジェクトがマイナビ農業*のアグリテックに掲載されましたのでお知らせします。

*農業のすべてがあつまる Web サイト

【マイナビ農業のアグリテック掲載内容】

<詳報! アグリテックはここまで来た! > 自然エネルギー・最新の栽培技術・IoT のタッグで耕作放棄地問題と農業振興に取り組む【PR】

https://agri.mynavi.jp/2018_07_27_33658/

-地熱発電所-



-スマートファーム-



【スマートファームプロジェクトとは】

岩手県の八幡平市では、30年以上前から地熱発電所から供給される熱水を暖房に利用したビニールハウス(通称「熱水ハウス」)での農業が行われてきたが、高齢化による就農者離れや施設の老朽化等の問題があり、現在は未活用になっている施設が多いことから、今回、農業生産法人でもあるグリーンリバーホールディングスの関連会社が、未活用の熱水ハウスで縦型水耕栽培農法を用い労働の軽減によるビニールハウスの高収益化を図るとともに、クラウドでビニールハウス内の環境制御を行う MOVIMAS の栽培管理システムを導入し、農業ノウハウを共有・蓄積する事で新規就農者のスタートアップを支援することを目指すものです。

【IoT 次世代施設園芸への転換と拡大】

岩手県・八幡平市における高石野地区にて、50棟の耕作放棄された熱水ハウスの再生に着手いたします。再生においては、無線カメラ監視ソリューションを用いることで、離れた場所からの遠隔監視が行えるようになり、より精度の高い生育状況を確認することが可能となります。また、無線カメラ監視ソリューション AI 画像分析サービスを用いた画像分析を連携させることで、生育状況を自動的に判断する仕組みの導入を進めてまいります。

-MOVIMAS AGR IoT 自動化制御システム-



-縦型水耕栽培-



-センサー&IoT 無線カメラ-



-タブレット遠隔制御-



※本リリースに記載されているその他の社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。
※掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますので
ご了承ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

グリーンリバーホールディングス株式会社 東京支店 社長室

TEL:03-5289-7318

八幡平市役所 農林課

TEL:0195-74-2111

株式会社 MOVIMAS ソリューション本部

TEL:03-6279-0485

株式会社 MAYA ホールディングス(MOVIMAS グループ親会社)

広報室

TEL:03-5989-0931